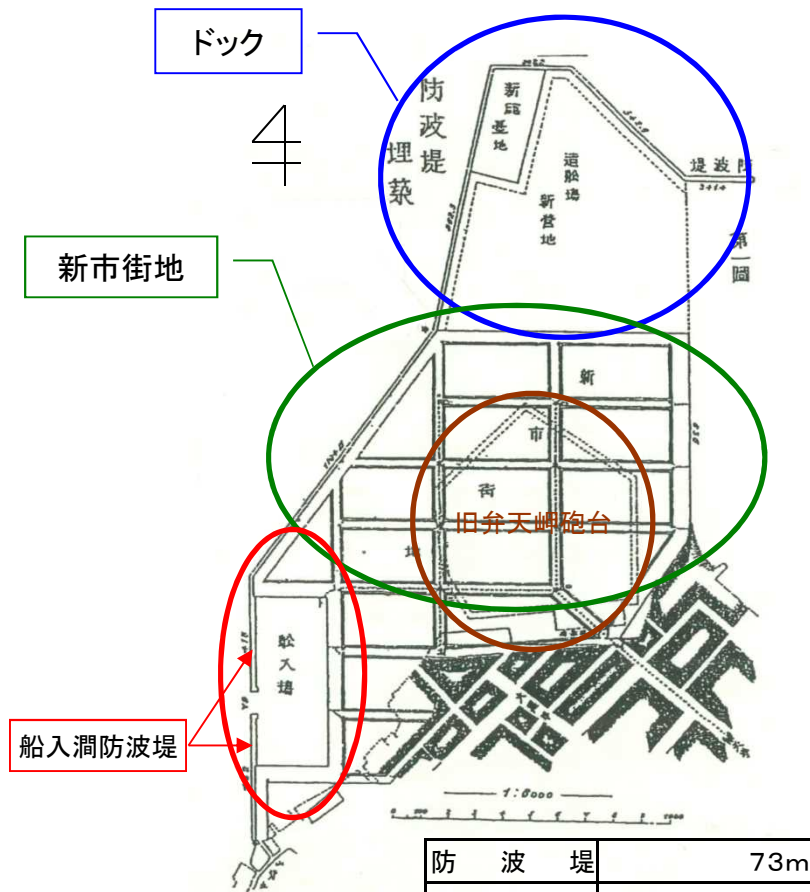


函館港改良工事

○函館港では、明治に入り貿易量が急激に増大し、出入港する船舶が大幅に増えたため、これらの船舶の修理に必要なドックを整備するとともに、人口の増加に伴う市街地の確保、そして西からの波浪から船舶を保護すること等を目的として、明治29年に函館区営（※）による「函館港改良工事」が始められました。

※：工事予算（約82万円）の3/4が函館区の負担（区債+区有地売却ほか）であったため、函館市史では「区営港湾改良工事」とも示されている。



函館港改良工事内容

防波堤	73m
防波護岸	891m
埋立	147,107m ³
浚渫	428,000m ³
船入潤防波堤	158m

出典：「函館港改良工事報文」
（北海道庁函館支庁、明治32年）

浚渫及び埋立状況



画像提供：土木学会附属土木図書館

施工状況（M31.7.4）



画像提供：土木学会附属土木図書館